

「水辺の小さな自然再生」事例紹介（サンプル案）

記入日 (記入不要です)

都道府県名	福岡県			河川名	上西郷川				
タイトル (キャッチコピー)	(記入不要です)								
写真 ※代表的な写真2枚									
水系名/河川名	西郷川水系/上西郷川			場所	福岡県福津市福間南				
位置情報 (緯度経度) ※本表末尾参照	33.760548, 130.490995			活動開始年	2007年				
活動概要 (経緯・目的等)	上西郷川では2007年より、市民-大学-行政で協力した多自然川づくりが進められており、これまで（2016年9月現在）に行われたワークショップやイベントは約50回に上っています。ワークショップでは、川の維持管理や自然再生手法についても議論されてきました。合わせて魚類を対象としたモニタリング調査が行われており、その結果を見ながら小さな自然再生の工夫を導入するという考え方で改修事業を進めています。								
再生の手法	簡易魚道		簡易水制 (巨石・ブツク)	○	バープ工 (上向き水制)		石倉かご・竹蛇籠		植生ロール・ポット
	魚道改良		たまり・わんど造成		河床攪乱		その他 (記述)		
実施体制 (活動の担い手)	市民・市民団体	○	河川管理者 (国)		河川管理者 (都道府県)		河川管理者 (市町村)	○	河川管理者以外の地元自治体
	大学・研究機関	○	学校 (小中高)	○	企業		その他 (記述)		森林組合
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・施工は人力で可能です。材料には、近隣流域で余っている間伐材や、周辺工事で発生した石材を活用しており、流域管理やリサイクルの点においても工夫しています。 ・流失の危険性が少しでもある場合は、丸太と地面とを鎖でつなぐ等の間伐材水制が流失しないための対策を施しています。 ・現場の状況に合わせて、稚魚などの生息場になりそうな氾濫原水路などを、間伐材水制の周りに掘ってあげるとより効果的です。 								
今後の課題									
効果 (直接的な効果・間接的な効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐材水制導入によって水制近傍のハビタットや物理環境は多様になり、そこに生息する魚種数は有意に増えることが確認されています。 ・間伐材水制の周りは、子どもたちの遊び場としても機能しています。 ・子どもたちの親の世代の上西郷川の認知度も高まり、地域の人の川への関心が高まることにも寄与しています。 								
関連URL等	https://www.facebook.com/kamisaigo/								
事例情報提供者 ※非公開	河川 太郎			連絡先 (e-mail・TEL) ※非公開		info@a-rr.net			

※位置情報について：googleやyahooの地図で地点特定後、右クリックによりクリックした場所の「緯度経度」が得られますので、コピーしてこの表に貼り付け